

令和2年 稲作情報

第2号

令和2年7月1日発行 宮城県亘理農業改良普及センター 電話(0223)-34-1141

編集：JA みやぎ亘理 電話(0223)-34-4461

1 水稻の生育概況について（移植栽培）

品種	調査地点	田植月日	栽植密度 (株/㎡)		6月20日調査(6月19日)				7月1日調査			
					草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)
1 ひとめぼれ	名取市 愛島	5月21日	18.4	本年値	36.1	340	8.0	43.4	52.1	512	10.2	44.5
				平年比・差	104%	105%	-0.5	2.7	110%	107%	0.0	1.8
				前年比・差	113%	150%	-0.4	2.3	123%	123%	0.1	-1.7
2 ひとめぼれ	岩沼市 下野郷	5月18日	17.1	本年値	36.5	234	8.2	41.7	53.1	378	9.9	44.7
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	118%	97%	0	-2.3	107%	91%	0.2	-3.3
3 ひとめぼれ	亘理町 逢隈	5月12日	19.7	本年値	34.5	347	7.9	44.5	44.8	498	9.4	39.5
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
4 ひとめぼれ	山元町 坂元	5月21日	17.7	本年値	38.1	303	8.1	43.5	52.4	520	9.7	43.8
				平年比・差	115%	111%	0.3	0.8	109%	113%	0.3	-0.1
				前年比・差	105%	119%	0.1	0.8	99%	124%	0.1	-0.8

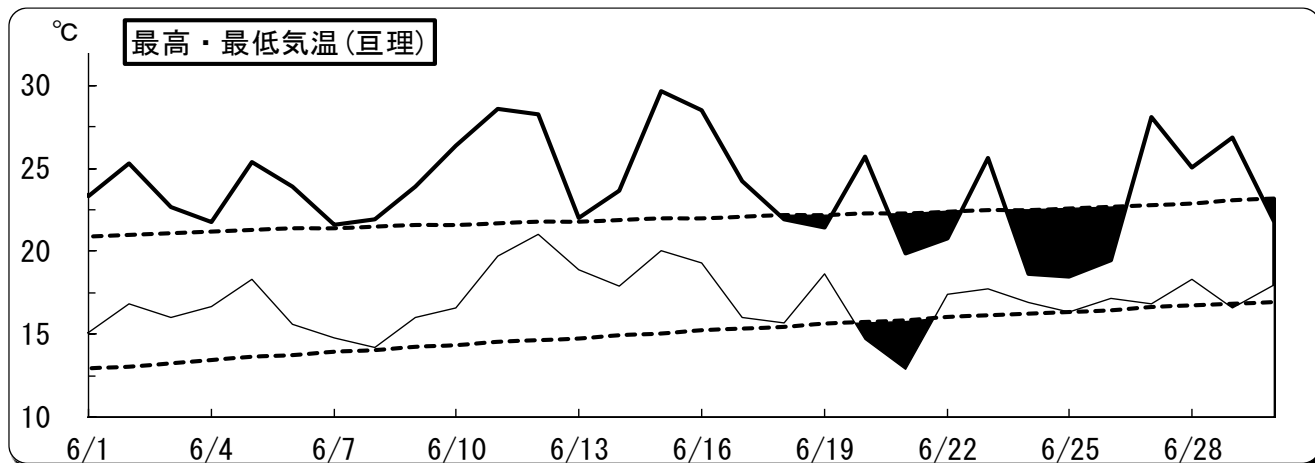
※平年値は、同一ほ場での過去5か年平均値であり、名取市と山元町の調査ほ場が該当します

※亘理町逢隈のほ場は今年度からの調査のため、データは本年値のみとなります

○多くのほ場では目標茎数を確保し、中干し等の管理が必要となっています

○今回調査では幼穂形成期に達したほ場はありませんでしたが、「ひとめぼれ」などの中生品種では7月上旬には幼穂形成期に入ると予測されますので、中干しは7月5日頃を目途に終了し、徐々に入水していくのが望ましいと思われます

2 ここまでの気象とその影響について



○6月を通して、日平均気温は平年より2度高く推移し、降水量は平年の27%にとどまっています。ほ場によっては、生育の急速な進展がみられました。

3 新品種「だて正夢」の生育状況について

品種	調査地点	田植月日	栽植密度 (株/m ²)		6月20日調査(6月19日)				7月1日調査			
					草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)
だて正夢	巨野町 逢隈	5月9日	180	本年値	50.2	414	8.9	46.7	64.3	527	10.2	44.0
				平年比差	—	—	—	—	—	—	—	
				前年比差	117%	109%	0.3	3.9	119%	98%	0.2	-4.2

○「だて正夢」の穂数目標である、1㎡あたり350本から400本はすでに確保され、まもなく最も莖数が多くなる「最高分げつ期」になるものと思われます

○幼穂長については、主莖10本を調査した平均で約0.4mmとなり、幼穂形成期(1mm以上)には達していませんでした(今後10日前後で達するものと見込まれます)

○減数分裂期(幼穂長3cm~)を捉えて適切に追肥を実施できるよう、ほ場の観察や、幼穂長の確認をこまめに行うことが重要です

4 水稻乾田直播栽培の生育状況について

◆下表はすべて条播の乾田直播栽培です

品種	調査地点	播種月日	播種量 (kg/10a)	条間 (cm)	6月20日調査(6/19)				7月1日調査			
					草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)
1 ひとめぼれ	岩沼市 押分	4月10日	6.0	24	31.4	214	6.0	36.6	39.0	486	7.7	38.6
2 ひとめぼれ	岩沼市 下野郷	3月23日	6.5	30	26.9	326	5.8	38.0	33.9	410	7.5	39.0
3 ササニシキ	名取市 杉ヶ袋	4月17日	5.0	16	25.6	350	6.3	41.5	42.5	691	8.5	41.4
4 ササニシキ	名取市 杉ヶ袋	4月12日	6.0	30	22.1	175	5.8	39.0	42.4	325	8.1	43.2
5 げんきまる	山元町 浅生原	4月12日	6.0	30	28.0	226	6.9	30.4	43.0	349	8.6	38.6

○草丈や葉数など、生育ステージは移植栽培との差を10日程度確保しています

○乾田直播では、生育期間中の落水は積極的にはしなくて良いとされていますが、生育が過剰になるような場合は、中干しを入れることもあります

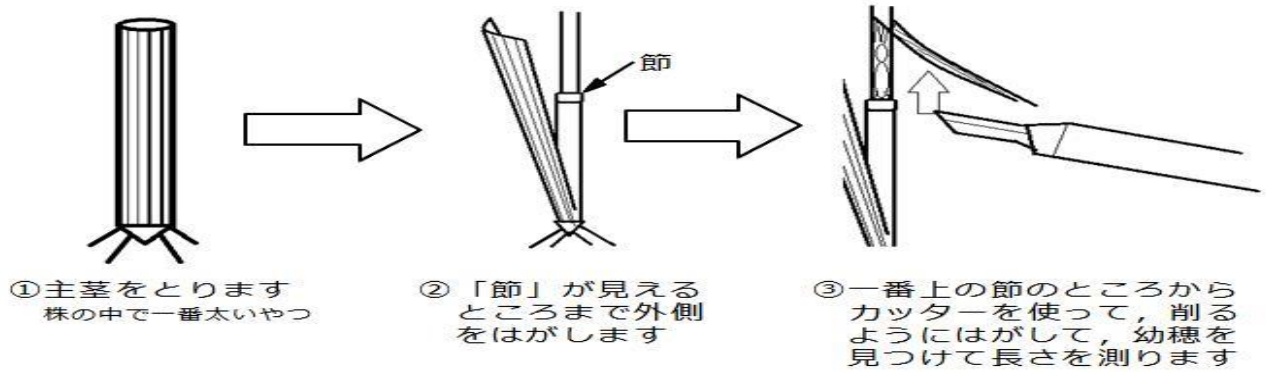
※土壌表面播種による湛水直播では、倒伏防止のためもあって、目標莖数の8割程度を確保したら中干し、という目安もあります

○今後は、「後発」する雑草や、イネツトムシの親である「イチモンジセセリ」のほ場への侵入などを監視し、必要があれば適切な薬剤防除を実施するなどの対策を検討します

5 今後のほ場管理のポイント

【幼穂長の観察】 目的：追肥の時期や「追肥をするかしないか」を決めるため

- 株の中で最も大きな「主茎」を（もったいないですが）抜いて調べます
- 調べる本数は任意ですが、普及センターでは10本の平均値を見ています



○ルーペを使っても全然見えない、というのであればまだ「幼穂形成期」ではないのだ、としておきます

○幼穂が見えたら、今がどの時期なのか判定し、管理作業に役立てましょう

幼穂形成期（出穂 25 日前～）

減数分裂期（出穂 15 日前～）

幼穂の長さ

1～2ミリ

3～12センチ（単位注意！）

6 病害虫防除について

【カメムシ対策】

- 草刈りをすることで、畦畔等のカメムシを本田内へ追込むこととなるので水稻の出穂10日前には草刈りを完了させるようにしましょう

【紋枯病対策】

- 近年、稲の紋枯病が多発傾向にあり、著しい場合は減収となる恐れがあります。水田を巡回した際にはよく株元を観察し、病斑を発見した場合は登録のある薬剤を散布し防除するようにしましょう。（発病初期には、額縁散布のみで効果が得られる場合があるので念入りに観察しましょう。）

薬剤名	散布時期	10a 当たり
バリダシン粉剤 DL	出穂期 10 日前～出穂期直前まで	3 kg～4 kg
バリダシン液剤		1000 倍希釈で 60～150L

農薬危害防止運動実施中（令和元年6月1日～8月31日）

『使用前には必ずラベルで 作物名・使用方法を確認！！』